

市政のあり方を問う

9月定例会では、23人の議員が市政に対する一般質問を行いました。



津山新星会議
小椋 多

全国学力テストの結果 津山市の対策は？

Q 教育 今回の学力テストの結果が芳しくなかったと聞きますが、学力向上対策と今後の取り組みは。

A 教育長 市と学校がこれまで取り組んできたことの結果として厳粛に受け止める必要がある。調査結果の成果と課題を受け止めることで、教員の意識改革や日々の授業改善が進み、子どもたちの学力が向上するものと考えている。



子育て対策の 取り組み強化策は

Q 少子化 津山市でも少子化が危惧されている。人口減少対策、そのビジョンは。

A 市長 全ての分野に取り組む必要があるが、市の実情に合わせ産業振興などに焦点をあてた取り組みを行い、人口減少に歯止めをかけ、持続可能なまちづくりを進めていきたい。

他の質問 防災



津山誠心会議
野村昌平

本市の土砂災害対策 その備えは

Q 防災 土砂災害対策と自主防災組織の津山市の現状は。

A 部長 危険箇所は市内の589カ所が指定を受け、対策は県で取り組み105カ所が整備済。自主防災組織は154組織が結成済で世帯組織率は92.6%。防災資材や防災士の資格取得等に要する経費に対し、一定額を助成する制度を新設し、設立促進と育成強化に取り組んでいる。

不動産の売買が成立 卸売市場の再出発へ

Q 産業 総合食品卸売市場の最終決着は。

A 副市長 協同組合名義の不動産については、破産管財人から売買されたとの報告を受けた。青果部門を中心に県と事業者で卸売市場開設権の継承が進行中。税債権の回収については破産手続の継続中であり、申し上げることはできない。



朝の食品卸売市場全景

他の質問 公共交通